

はい!!

みんなで支え みんなで築く
福祉のまち美作

NO.
38

平成23年8月号

平成23年(2011年)8月20日
〒709-4234 美作市江見280
TEL.0868-75-2622
FAX.0868-75-7081

社協です!

社会福祉法人 美作市社会福祉協議会

三世代で交流を深めた早朝のラジオ体操

湯郷地区社協の世代交流事業

ラジオ体操を通じて三世代の交流を図ることを目的に行われた世代交流ラジオ体操は、この夏、湯郷全地域（15会場）で開催され、延べ約600人が参加し、各会場で世代交流を深めました。



畑沖の多目的集会所広場で世代交流ラジオ体操

社協だよりは、皆様からお寄せ頂いた社協会費・寄附金の一部を使って発行しています。

地区社協活動で『救急医療情報キット』の普及を支援しています。

現在、美作市社会福祉協議会は、地区社協活動の推進を図るため、『救急医療情報キット』設置の取り組みを行っています。『救急医療情報キット』は、自分の氏名、年齢、緊急連絡先、かかりつけ医、持病や服薬内容などの情報を専用の容器(筒)に入れ、どの家庭にもあり、誰にでも見つけやすい冷蔵庫の中に入れて保管しておくことで、緊急時に活かすものです。

キットの中には目印として冷蔵庫の扉に貼り、[緊急連絡カード]を保管していることを表示するマグネットシートも付いています。万一病気やけがで倒れた場合、救急隊員や第一発見者などが、冷蔵庫の中から容器(筒)を取り出し、中の情報を見ることで、身元や日頃の身体の状態などがすぐに分かり、迅速、的確に救護ができ、身内など関係者にもすぐに連絡ができます。

美作市社会福祉協議会では、概ね65歳以上の一人暮らしの方にキット(容器)を1個100円、それ以外の方には300円で提供しています。

この取り組みは、地区社協活動ですので地区社協がまとめて行います。

申請時には、設置者の情報を提供していただき、その情報を消防本部・美作市保健福祉部へ提供しています。

平成23年5月末までに1,656個設置しており、先日も美作市消防本部より、旧大原町の女性宅に救急隊が出動したところ、冷蔵庫扉に貼ってあるマグネットシートを発見し、キットに入っている緊急連絡カードの情報が救命活動に活用されたとの報告がありました。

救急医療情報キットは、地域より多くの人に関わり、その存在を知ることで、より効果的な活用が期待できると思います。

本体容器

容器に[緊急連絡カード]を丸めて入れ、冷蔵庫に保管します。



■ 本体容器蓋

マグネットシート

冷蔵庫に[緊急連絡カード]を保管していることを表示するために[マグネットシート]を冷蔵庫の扉に貼ります。



■ マグネットシート

救急医療情報キット活用の流れ



「Q救キット」マグネットを、冷蔵庫の扉に貼ります。本体容器は冷蔵庫に保管します。

救急車をお願いします!!

救急隊員が「Q救キット」マグネットを確認! 冷蔵庫の「Q救キット」から医療情報を確認!

かかりつけの医療機関、または他の医療機関へ連絡・搬送

情報の素早い伝達ができます。

[緊急連絡カード]の必要事項をご記入いただき本体容器に入れます。



→

冷蔵庫に入れて保管します。



詳しくは、美作市社会福祉協議会本所または各支所にお問い合わせください。



「地域社協連絡協」の設立会議で会則を確認する役員

市内地域社協活動の活性化へ「地域社協連絡会」を設立

合併以来の懸案事項であった地区社協の市レベルでの連合体組織「美作市地域社会福祉協議会連絡会」（略称：地域社協連絡会）の設立会議が7月20日(水)、作東長寿センター2階会議室で開催され、会則の承認や正副会長の選任、事業計画の承認が行われました。

「地域社協連絡会」は、市内6地域の地域社協の連合体として各地域社協間の連携強化や調査・研究を行うことを目的に組織されたもので、6地域から2名の役員を選出し12名の役員構成で運営されます。

当日は、会長に山本壽氏（作東地域）、副会長に福原貞夫氏（勝田地域）を選出。就任した山本会長からは、「市内地域社協活動の推進のため一生懸命頑張りたい」と力強いあいさつをいただきました。

また、今年度「地域社協連絡会」の事業計画は、

役員会や11月に先進地視察、2月に合同研修会として各地域社協からの活動発表会等を行うことを確認しました。

社協副会長の船曳隆司氏を招いて、同地区社協の活動報告を聞き、それぞれの地域での実践を約して会議を終了しました。

美作市地域社会福祉協議会連絡会役員名簿(敬称略)

| 選出区分 | 氏名 |
|------------|------------|
| 作東地域社協代表者 | 山本 壽(会長) |
| 勝田地域社協代表者 | 福原 貞夫(副会長) |
| 勝田地域社協代表者 | 和田 俊明 |
| 大原地域社協代表者 | 春名 信義 |
| 大原地域社協代表者 | 鈴木 悦子 |
| 東粟倉地域社協代表者 | 鳥元 均 |
| 東粟倉地域社協代表者 | 上田 義雄 |
| 美作地域社協代表者 | 橋本 博光 |
| 美作地域社協代表者 | 佐藤 順子 |
| 作東地域社協代表者 | 内藤 善晴 |
| 英田地域社協代表者 | 中村 富夫 |
| 英田地域社協代表者 | 橋本 正弘 |

支所だより

勝田支所

☆「南町」七夕まつり☆

南町サロンの会員は約50名で、月に1回、南町集会場に集まって、お茶を飲んで、おしゃべりをしたり、体操や歌、映画鑑賞、お花見等を楽しんでいます。

7月3日(日)に、地区の子ども達を招待し、恒例の七夕まつりを開催しました。

当日は、朝早くから、子ども達の歓声に包まれ、私達じいちゃん、ばあちゃんも笑顔が絶えませんでした。

子ども達も「じいちゃん、これはどうするん？ばあちゃん、これでええんかな？」

大きな竹笹にみんなで七夕かざりをつくり、「元気になりますように」、「ケーキ屋さんになれますように」など、たくさんのお願いごとを短冊に書きました。

お昼には、地区の役員の方々につくっていただいたソーメンをおいしくいただき、子ども達と交流ができ、楽しい1日を過ごしました。



七夕かざり作成中

大原支所

暑さに負けない！

子育てサロン「まめっこ」プール開き

毎週火曜日、午前10時から11時30分まで大原保健センタープレイルームで行っている子育てサロン「まめっこ」では、7月5日(火)、大原保健センターの屋外でプール開きを行いました。

朝から暑い日差しが照りつける中、子ども達は裸になり、歓声を上げて水と戯れました。「家で子どもと過ごすのもいいけれど、ここに来れば、お友達と遊べます」と「まめっこ」で情報交換をしたり、友達づくりの場になっているようです。

「まめっこ」では9月末までプールを開放しています。省エネの夏に暑さに負けず、元気いっぱい過ごすためにも「まめっこ」のプールをぜひご利用ください。

また、「まめっこ」では、保健センター1階に本棚を設置し、絵本の貸し出しを行っています。併せてご利用ください。

一人暮らしの会を立ち上げよう

この夏、大原地区、大吉地区にお住いの65歳以上の一人暮らしの方々が集まり、事業の内容や計画について話し合いました。これにより、大原地域では4地区に一人暮らしの会ができ、堅苦しい会ではなく、ワイワイガヤガヤ楽しくおしゃべりできる会を目指しています。

会員を随時募集しておりますので、ご希望の方は社協大原支所（☎78-0509）までご連絡ください。



東栗倉支所

東栗倉地域社協が「防災講演会」を開催

8月7日(日)、東栗倉総合支所基幹集落センターで、東栗倉地域社協(会長・鳥元 均)主催による防災講演会が開催されました。

当日は、2年前の災害で被災した土居地区総区長の山本 壽氏と兵庫県佐用町企画防災課室長の久保正彦氏を講師にお招きし、被災地住民と行政それぞれの立場から災害時の様子を振り返っていただきました。

講師のお2人からは、「実際に災害が発生した時に駆けつけて助け合うことができるのは地域の仲間。災害時の要援護者の支援についても、その担い手は行政ではなく、地域の力にかかっている」など自助・共助の重要性について分かりやすい説明がありました。講演会には約150人の参加があり、災害発生時の初期対応と防災に関する知識を学ぶことで、普段からの地域のつながりの大切さを理解していただけたことと思います。



美作支所

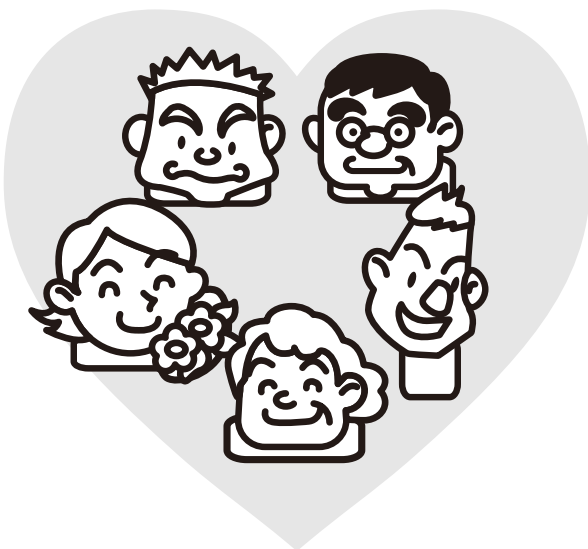
市内の障がい者事業所と地域のボランティアが交流を深める！

「らくくじゃあ交流会開催」

6月24日(金)、美作市江見の作東農業改善センターで、市内6ヶ所の障がい者事業所(「トラストワークス美作事業所」「福祉の店きずな」「スタートワークキングサポート」「さくらの木」「地域活動支援センターなごみ」「むぎの会作業所」*順不同)の利用者とボランティア約60人が集まり、「らくくじゃあ交流会」が開催されました。

市内の事業所が一堂に集まるのは今回が初めての試みで、身体障がい・知的障がい・精神障がいを持つ事業所の利用者と地域のボランティアがお互いに理解を深めようと、当事者自身の実行委員により企画・運営を行いました。当日はレクリエーション講師として山本和江さんをお招きし、それぞれの事業所の紹介やミニ運動会を行いました。

「楽しかった！こんなに大笑いしたのは久しぶりだ！」「今回だけで終わらせるのではなく、続けることに意味がある。これからも交流会を続けていきたい」などの声があり、大変有意義な交流会となりました。



作東支所

作東各地で一人暮らし高齢者の会が次々と開催

少子高齢化が進み、2020年の世帯構成は、日本の全都道府県で一人暮らし世帯が最大と言われています。そのような中、一人暮らしになっても、いきいきと楽しく暮らせる地域づくりを目指して、作東地域でも一人暮らしの会が次々に開催されています。一人暮らしの会とは、一人暮らしの方が会員となったサロン活動で、作東では、作東福祉ボランティアの会や地区社協などが主体となっており、江見（豊野を含む）・土居・吉野・福山の各地区で一人暮らしの会を立ち上げて、活動されています。

6月24日(金)には江見地区が東西栗倉方面へ、7月3日(日)には吉野地区が柵原の片上鉄道の乗車体験などの戸外活動に出かけられました。また、7月15日(金)には福山地区で今年度の話し合いが行われ、年度内に会を6回することに決まりました。参加された方々は、「一人暮らしになっても、地域の人や友達と一緒に旅行やお話ができるのが楽しい」「同じ一人暮らしだからこそ話せる悩みや思いもある」とおっしゃっていました。この他に社協でも関係者の方の協力を得て年に一度、市内の一人暮らし高齢者の会の交流会を予定しています。



愛の村でお昼を食べて記念撮影（江見地区）



みんなで楽しいお昼ごはん（福山地区）



片上鉄道の乗車体験（吉野地区）

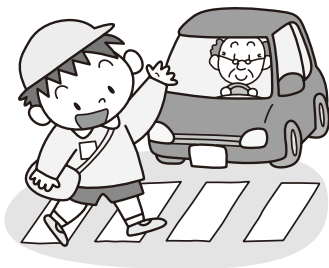
英田支所

交通安全講習会を開催

7月12日(火)、老連英田支部では、英田保健センターにおいて、高齢者の交通安全啓発を目的に、美作警察署交通課より担当者を招いて講習会を開催しました。

当日は、支部役員21名が参加し、午前9時30分から個人の運転適性の検査や、加齢によって運転の動作や反応がどう変化するかなどを勉強しました。

高齢者交通安全モデル地区の指定を受けたこともあり、受講した内容を広くクラブ会員や地域の方々に啓発することを確認し、午前11時30分に散会しました。



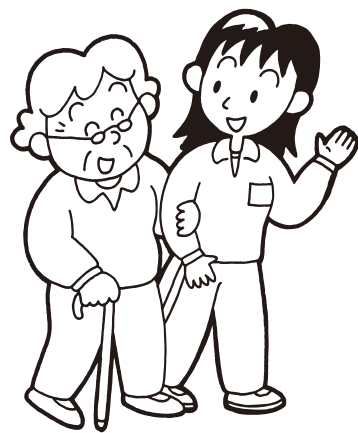
英田保健センターでの高齢者交通安全講習会

— 多くの出会いと新しい自分の発見の場 —

2011 夏のボランティア体験事業

勝英地域市町村社協連絡会主催の、「2011 夏のボランティア体験事業」は、中学生・高校生約400名が参加し、管内の幼児施設・高齢者施設・障がい者作業所等64ヶ所で、ボランティア活動を体験しました。

ボランティアには、いろいろな人達と協力して成し遂げる「楽しさ」や、学校や職場では体験できない「出会い」や「まなび」があります。「2011 夏のボランティア体験事業」に参加された皆さんにとって、今年の夏は、いろいろな人達との出会いを通して、生き方・考え方にふれ、自分のことを振り返るよい機会にもなったのではないのでしょうか。



お昼ごはん前の手洗いを園児と一緒に「きれいになったかな?」



窓ふきそうじボランティアの様子「ピッカピカ」



デイサービスで将棋対決を応援中

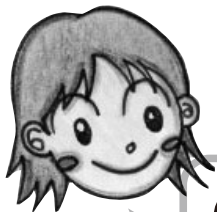


ボランティアのお姉さんと一緒にお弁当「おいしそう!」

美作市ファミリー・サポート・センター通信

美作市ファミリー・サポート・センターは、子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援してくださる人(提供会員)からなる会員組織で、安心して子育てができるための環境づくりを支援しています。

子育てを応援してほしい人・ 応援したい人 募集中です



Q: 登録しておけば、いつでも子どもを預けることができますか。



A: できます。いつでもご連絡いただければ、利用することができますよ。

講習会のお知らせ

今どきの子育て ハッピーアドバイス

- ◆日時 10月4日(火) 10:00~12:00
- ◆場所 世代交流多目的ホール(美作市北山)
- ◆講師 美作市保健師 吉元映子氏
- ◆内容 輝いた子どもに育てるために、大人ができること
- ◆参加費 無料
- ◆申し込み締切 10月3日(月)

申し込み・問い合わせ先

美作市ファミリー・サポート・センター
☎72-3961

赤ちゃんサロン 「えんぜる」

6月28日(火)、世代交流多目的ホールにて、「ベビーマッサージとママのための親子体操」を行いました。



ベビーとママのための親子体操

お母さんのあたたかい手のマッサージは最高のスキンシップになりました。その後、赤ちゃんといふれあいながらできるエクササイズで汗を流しました。

また、座談会では、将来同級生になるお友達同士、和気あいあいとママ友の輪をひろげました。

赤ちゃんサロン「えんぜる」は、毎月第3火曜日13時より、世代交流多目的ホールにて開催しています。赤ちゃんと一緒に気軽にご参加ください。

講習会・交流会は、会員以外の方でも自由に参加していただけます。お気軽にご参加ください。詳しくは、美作市ファミリー・サポート・センター(☎72-3961)までお問い合わせください。

エコキャップ(ペットボトルのキャップ)収集状況の経過報告

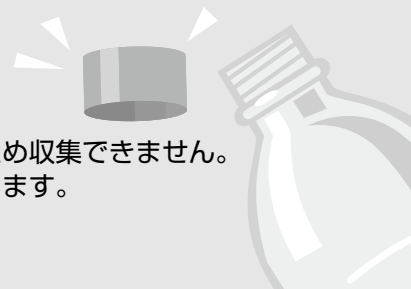
美作地区ボランティア連絡協議会(会長:佐藤順子)

皆様の温かいご協力により、現在のところ、**260.5人分のポリオワクチン**にかわりました(ペットボトルキャップ521kg、208,400個分に相当)。大変ありがとうございました。

収集にあたっては、下記の注意事項を引き続き守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

収集していただく際の注意事項

- ①集めるキャップは、ペットボトルのキャップをお願いします。
- ②キャップ以外の異物が混入しないようにしてください。
→マジックペン等で名前を書いたキャップは、インクが付着しているため収集できません。リサイクルで売却しますので、異物が混入するとリサイクルに影響します。
- ③汚れは必ず洗い落として、乾かしてください。
- ④応募シール等、シールのついたものは、はがしてください。



東日本大震災

復興支援職員派遣の報告(No.2)

美作市社協 福祉活動専門員

天野 心平

5月25日(水)から6月1日(水)までの8日間、宮城県多賀城市ボランティアセンターへ派遣職員として行きました。

私の担当は、市内3ヶ所にある避難所と全国からのボランティア希望者との連絡・調整役でした。避難所の要望や状況に合わせ、ボランティアとの調整を行っておりましたが、当時は市内でも約1,000人以上の方が避難しておられ、避難所からの多くの要望を的確にボランティアに伝えることが重要なポイントでした。

東日本大震災から2ヶ月が過ぎた段階で、まだまだ今後の見通しが立たない避難所生活を余儀なくされている方々に、何か手伝いをしてあげたいとの熱い思いを持った全国からのボランティアが多数おられ、その熱い思いがあふれる現場で仕事ができただことは、得難い経験でした。

東日本大震災被災地支援活動 ボランティアに参加して



美作市白水
井口 政則

この度の東日本大震災に、岡山県社会福祉協議会の災害ボランティア派遣事業で、宮城県多賀城市へ、6月6日(月)から5日間、災害ボランティアとして参加しました。

私が、今回災害ボランティア参加を決意したのは、一昨年の豪雨災害時、私が住む白水地区も甚大な被害を受け、全国からのボランティアによる支援活動をいただき、この感謝の気持ちを返ししなければとの思いからでした。

この回の事業には、県下16市町村より46名のボランティアが参加し、大型バス2台で岡山を出発し、宮城県多賀城市までバスで15時間の行程でした。

被災地は、壊れた家屋や瓦礫などが果てしなく続き、想像を絶する光景でした。

活動先は、多賀城市の被害が最も多い明月地区で、いたるところ異臭が立ち込める中、市道側溝の土砂やヘドロの撤去作業

を行いました。

参加しているボランティアは、被災地への復旧に思いを持ってやってきた者同士、容易にコミュニケーションもとることができ、声を掛け合いながら1人のけが人も出すことなく活動が終わる頃にはみんな親しくなりました。

作業中に地域の住民に出会うことが少なく思っていたところ、明月地区の区長さんから、この地域では、37名の尊い命が失われ、また、住宅の全壊は250世帯近くもあり、地区内住民の大半が、現在も避難所生活を余儀なくされているとのことでした。

今回の貴重な体験を通して感じたことは、被災地は悲惨な状況が続いており、完全な復興には、まだまだ時間がかかると思っています。

どうか市民の皆様にも可能な限りのご支援ご協力をお願いし、私の報告を終わります。

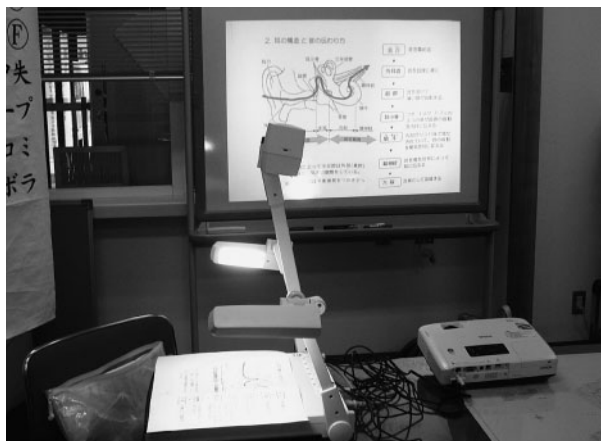
美作要約 筆記サークル

OHC(書画カメラ)がやってきた!!

美作要約筆記サークルでは、聞くことを不自由に感じる方々に、講演会等で、OHPのシート上にマジックペンなどで書いて映し出し、情報を伝える活動をしてきました。

この度、「競輪・オートレースの売上金による(助車両競技公益資金記念財団の助成金)により、OHCを購入することができました。

このことにより、今まで以上にいろいろな場面で活躍していきたいと思っています。



地域福祉活動計画の活動目標と取り組み内容

Part.4

活動目標4 子育て支援

近年、核家族化が進み、家庭の養育機能が低下し、子育てに悩んだり、誰に相談したらいいのか分からないなど様々な子育て問題が浮上しています。このような状況を少しでも改善し、安心して安全に子育てができる環境づくりを目指して、行政施策の充実を働きかけるとともに、地域と社協が協働して地域ぐるみの子育て支援ができる体制づくりに取り組みます。

アンケートや座談会から寄せられた「住民の声」 (活動目標が生まれた背景)

- ・子育ての不安解消、情報交換の場が不足している。
- ・子育ての相談窓口が欲しい。
- ・ファミリーサポートセンターや放課後児童クラブのサービスを充実して欲しい。
- ・子育て支援体制を充実して欲しい。
- ・通院や講演会参加の際、子どもを預かって欲しい。

「住民の声」を解決するための取り組み

① 日常生活の中での支援

| 地域の取り組み内容 | 地域の取り組みを支援するための社協実施事業 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守りや声かけ活動を行い、子育てがしやすい環境づくりに取り組みましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンを子育ての不安解消や情報交換の場になるよう支援します。(サロン周知資料の配布、救急法等講習会の開催、子育てに関する口コミ情報ボードの設置、子育て相談員の派遣と相談窓口開設) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域で行われる多世代交流事業等に、積極的に参加し、地域で子どもを育む機会をつくりましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・登下校等の子どもの見守り活動を、地域や団体等に働きかけます。(市内で行われている子どもの見守り活動の研究) |

② 各種福祉サービスによる支援

| 地域の取り組み内容 | 地域の取り組みを支援するための社協実施事業 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサービスの情報収集に積極的に取り組みましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターの事業周知と会員の増強に取り組みます。(講習会、会員交流会、事業説明会の開催、ファミサポ通信の情報提供) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する講習会や行事に積極的に参加しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て用品の貸出事業を実施します。(ベビーベッド・ベビーカー・チャイルドシート貸出) |

③ 市民活動による支援

| 地域の取り組み内容 | 地域の取り組みを支援するための社協実施事業 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・託児に対する理解と日常的な地域のつながりを築いていきましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・託児ニーズを把握し、ボランティアの養成と組織化に取り組みます。(託児ボランティア養成講座の開催、託児ボランティアの組織化) |

安全で安心な地域社会の実現へ 社会を明るくする運動 勝英地区保護司会の啓発パレード



出発式で内海教育長に法務大臣のメッセージを伝達する主原副会長(左)

勝英地区保護司会による、犯罪と非行のない社会を目指す「第61回社会を明るくする運動」広報パレードが、7月の同運動強化月間に合わせ同月5日(火)、美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村で実施され、市町村長宛の法務大臣のメッセージを伝達しました。当日、市役所前の駐車場で行われた出発式には保護司、市職員約50人が参加し、福永孝雄会長のあいさつに続き、主原啓隆副会長が「犯罪や非行のない安全で安心な地域社会の実現は多くの国民の願い」との江田五月法務大臣のメッセージを代読し、内海寿志教育長に手渡しました。その後、参加者は車4台で巡回宣伝活動に出発し、管内各市町村で啓発を行いました。

助成金情報(民間助成事業のご案内)

社会福祉協議会に周知された民間助成金情報の一部を掲載しています。詳細については、各団体に直接お問い合わせください。

大和証券福祉財団「第18回ボランティア活動助成」

- ◇**応募資格** ボランティア活動を目的とした団体・グループ学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。(申し込みに際し、社会福祉協議会等の推薦を必ず受けてください)
- ◇**応募課題** 特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動
- ◇**助成金** 上限額 30万円(1団体当たり)
- ◇**応募期間** 平成23年8月1日(月)～9月15日(木)(当日消印有効)
- ◇**助成期間** 平成24年1月～12月の活動に対して助成
- ◇**応募方法** 所定の申込書2部を財団事務局宛にご送付ください。
- ◇**社会福祉協議会等の推薦(必須)**
申込書No2の推薦欄に社会福祉協議会・共同募金会の推薦文を書いてもらってください。尚、推薦文の記入にあたっては、少なくとも1週間程度の期間を要することを予めご承知おきください。
- ◇**助成決定** 平成23年12月上旬
- ◇**報告書の提出** 平成25年1月末日までに助成金使途報告書を提出していただきます。
- ◇**個人情報について**
申込書に記入された個人情報は厳重に管理し、助成応募のみに使用いたします。助成対象となった場合、財団ホームページ等に市町村名、団体名、代表者名、助成内容を公表させていただきます。
- ◇**申込書送付先** 〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル
公益財団法人 大和証券福祉財団 TEL 03-5555-4640 FAX 03-5202-2014

多額のご芳志

多額のご芳志をお寄せいただき
誠にありがとうございました。



香典返し

(敬称略)

久賀 中尾 正信 様
余野 小坂 静子 様
真加部 安東 勢輔 様
真加部 有元 敏衛 様
真加部 宮元 澄恵 様
矢田 鷹取 学 様
梶並 竹内 房子 様
梶並 岡田 順子 様
楮 長畑 寛 様
楮 皆木 貞子 様
東谷下 皆木 菊夫 様
東谷下 西 英二 様
古町 高畑 昌徳 様
中町 大西 一功 様

宮本 滝 花田 登 様
壬生 平紙 巧 様
壬生 春名 信義 様
後山 春名 真二 様
中谷 岡野 卓夫 様
東青野 白岩 行男 様
明見 安東 義和 様
入田 木村 雅一 様
大井が丘 神原 雄 様
和田 小林 次男 様
北山 清水 昭則 様
下山 貞森 清志 様
榑原中 安東 利治 様
山口 高家 康則 様

林野 松本 文隆 様
林野 大森 里子 様
海田 中村 正雄 様
巨勢 小坂田 龍司 様
巨勢 白金 悟 様
三倉田 坂田 敏行 様
湯郷 丸山 貞枝 様
湯郷 梶原 吉美 様
湯郷 山下 英作 様
小野 神田 務 様
栗井中 名部 照美 様
豆田 川端 清四郎 様
大内谷 藤岡 聖照 様
竹田 大森 龍 様
山城 鷺野 清子 様
白城 新田 龍馬 様
白水 小林 義文 様
田淵 衣笠 陽子 様
尾谷 奥西 恒志 様
福本 青山 重男 様

一般寄付

豆田 (株)レイテック様

余野 小坂 繁子 様
真加部 宮元 多美江 様
右手 長畑 忠雄 様
右手 平井 あい子 様
東谷下 鎌田 千寿子 様
後山 鳥元 均 様
栗井中 名部 照美 様
神奈川県小田原市 濱田 慎吾 様

見舞い返し

福本 下山 壽 様
上 小林 正 様
上 小長 子 様
下 山 達巳 様
岡山市 下山 浩志 様
岡山市 古田 みどり 様
岡山市 鷹取 昭雄 様
岡山市 新免 則彦 様
明石市 赤堀 暢俊 様
大阪狭山市 春名 慶勝 様
大阪府高槻市 中尾 充則 様
愛知県犬山市 中川 進 様
神奈川県小田原市 濱田 慎吾 様

編集後記

本所・作東支所 TEL(0868)75-2622
勝田支所 TEL(0868)77-2900
大原支所 TEL(0868)78-0509
東栗倉支所 TEL(0868)78-2800
美作支所 TEL(0868)72-3677
英田支所 TEL(0868)74-2488

爽やかな朝の風を吸いながら、ラジオの声と共にラジオ体操が始まる。今年も湯郷地区社協の世代交流ラジオ体操が、我が村にもやってきた。大人も子どもも家族総出でこの朝はコミュニティハウスに集まり、NHKのラジオ体操に親しむ。平成9年、湯郷地区社協が設立されてから始まったこの事業も、15回目の夏を迎え、今ではすっかり地域に定着したものとなっている。

合併以来の懸案事項であった、「地域社協連絡会」が関係者のご理解とご協力により設立された。この「連絡会」は、地区社協の市レベルでの連合体で市内48地区社協の連絡調整や活動の活性化を図るものである。「連絡会」の活動が全市で進み、多くの地区社協やその活動が、地域で定着するものとなることを期待したい。